

## データの一気通貫でものづくりが変わった

### 株式会社モルテック

#### 金型設計の完全3次元化を実現するために TOPsolidシリーズを導入

デジタルカメラ、ポータブルオーディオ、ICレコーダーなどの外装小物部品のプラスチック射出成形用金型を製造、販売する株式会社モルテック。金型の設計、製作、販売からそのサポートまでトータルで顧客のプラスチック射出成形用金型での量産体制を支援する。

さらに成形工場を持ち、量産時と同じ条件で成形トライを実施。そこで金型の問題点を納品前に徹底的に洗い出し、高い品質の金型を製作している。

同社では取引先から支給されるデータの多くが3次元データに移行してきたのをきっかけに設計のあり方を見直し、さらなる効率化を図るべく金型設計の3次元化を推進。その中で、2001年にTOPsolidシリーズを導入した。

「当社の3次元化の目的は3次元データの徹底活用を考えた金型設計の完全3次元化。それを実現するにはTOPsolidシリーズ以外にベストなシステムはなかった。」と同社部長伊藤大生氏は導入当時を振り返る。

#### 使いこなす程にシステムの完成度を実感 経験の浅い技術者にもスムーズに導入

現在でも2次元と3次元を併用することの多い金型メーカーの中で、同社では2次元図面の使用を最低限にし、3次元データを徹底的に活用している。

「2次元と3次元の完全なる連携、豊富な機能、抜群の操作性どれをとっても当社の目標を達成するためにはTOPsolidシリーズは最適なシステムだった。」と同社設計グループ係長清水健介氏は語る。

「TOPmoldの金型設計に関する機能だけでなく、その他にもTOPsolidの製図機能やモデリング機能など実際に使いこなす程にTOPsolidシリーズのシステムの完成度の高さをあらためて実感できました。確かに導入当初は、以前使用していたCADシステムから慣れるまでに時間がかかりましたが、一度理解するとこんなに便利なシステムはないと思います。」と清水氏は使いこなすほどにTOPsolidシリーズの品質の高さを実感したという。

「TOPsolidは操作がしやすいのはもちろんのこと、対話式で、経験の浅い技術者でもスムーズに設計が行えます。また、規

格部品が豊富に登録されており、そのまま簡単に配置することができます。」と同社設計グループ係長伊藤光伸氏もいう。



TOPmoldで設計した3次元金型モデル

#### モールドベース、金型部品の発注を 3次元データの活用で効率化

同社では金型設計を3次元で完結させるだけなく、「モールドベースの社内標準化」、「複数の設計者によるチーム形式での設計体制」で大幅な納期短縮を実現した。さらに3次元データの徹底活用を社外との関係にまで広げた。

モールドベース、金型部品の仕入先であるサカモト・ダイテム株式会社と3次元データによる受発注体制を確立。両社でTOPsolidシリーズを導入し、設計の途中でも金型モデルを渡すだけで発注できるようにした。入れ子の加工完了時にはモールドベース、金型部品が納品され、直ちに組立を行えるようになり、リードタイムを大幅に短縮できた。さらに、データ変換、図面や部品表の作成なども省力化できた。

同社は今後もTOPsolidシリーズを活用してさらなる効率化を目指していく。



TOPsolidシリーズで設計、製作した  
デジタルカメラの外装小物部品

#### 株式会社モルテック

<http://www.moltec.co.jp/>

1960年に創業し、デジタルカメラ、ポータブルオーディオ、ICレコーダーなどの外装小物部品のプラスチック射出成形用金型を製造、販売。ものづくりのIT化が進む中、時代が求めるものを的確にとらえ、金型設計の完全3次元化の実現、微細加工用高速マシニングセンターの導入、金型部品の標準化による短納期対応、納品前の社内成形試作などに積極的に取り組み、常に進化をとげている。

本社 神奈川県。従業員20名。



写真左から

設計グループ 係長 伊藤 光伸氏

部長 伊藤 大生氏

設計グループ 係長 清水 健介氏



株式会社モルテック 本社外観

#### お問い合わせ

コダマコーポレーション株式会社  
<http://www.kodamacorp.co.jp>

〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央3-1  
センター南SKYビル4F

#### ■営業部

TEL 045-949-1331

FAX 045-949-1515

E-mail sales@kodamacorp.co.jp

会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。  
記載内容は2007年4月当時のものです。